

サ・メッセージ

あたたかな心のメッセージ

San Message

豊田西病院 広報誌
2005.2.28 Vol.19

19

地域の中でトータルな心のケアと社会復帰を支える



10周年を迎えた社会復帰施設の さらなる充実と将来への期待

理事長 坪井 弘次

10年間で、さまざまな 施設&サポートを推進

おりしも、当院の近くで愛知万博が開催され、この地方の経済活性化が期待されていますが、心の健康や精神医療の充実にも目を向けてもらいたいものです。わが国では、心の病に対する国民の理解が不十分で、長く入院している人が多く、社会復帰の推進が叫ばれています。当院ではいわゆるノーマリゼーション*を目指して様々な社会復帰施設を併設してきました。

まず、平成3年にデイ・ケア、続いてナイト・ケアを開設し、平成7年に社会復帰施設として県下初めての福祉ホーム(サン・ドーム)と通所授産施設(サン・ワークショップ)、平成9年にはグループ・ホーム(サン・ライズ)、平成10年にはこれも県下はじめての地域生活支援センター(サン・クラブ)を開設、さらに平成15年にはデイ・ケアも生活支援型とデイ・プログラム型の必要性から第二デイ・ケ

アを増設、また、外来の作業療法や訪問看護、居宅支援サービス(サン・サポート)を始めるなど、この10年の間に充実した支援体制を整えてきました。

焦らず、あわてず、 根気よく、継続的に支援

最近の入院治療は、向精神薬や精神医療の改善もあって短期入院が多くなっています。しかし問題は退院後、適切な医療が連続性を持って継続されるかどうかということです。また居住する地域で安定した生活を維持するためには、あらゆる方面から支援をしてゆくことが要求されます。

当院では、町の人たちを運動会に招いたり、当院の福祉施設入居者でつくる町内会を通じて交流会をもったり、また、近所の店舗を訪れて地域の方々との交流を広めています。

現に、グループ・ホームは県営住宅にあり、自然に地域の中に溶け込んでいます。地域の中学校の吹奏楽部によるコンサートや各講演会なども開かれました。

地域生活支援センター(サン・クラブ)では、月に150回以上の相談がありますが、就労に関するものが最も多く、患者さんの就労意欲の高いことと同時に、受

け入れ側の厳しい現状を感じさせられています。そこで、当クラブでは就労支援プログラムを作って、就労促進に役立てています。また、登録されたメンバーの方々には夜間の電話対応も行っています。

サン・クラブでは仲間同士が情報を交換しあったり、楽しい憩いの場ともなっています。

昨年3月には西三河北部地域の、また10月には愛知県全域の「こころの健康フェスティバルあいち」という大きなイベントに当院の医療福祉部門挙げて参加しました。

身近なこころの病気を 理解し合う明日へ

こころの病は誰にでも身近にかかる病気です。適切な治療の継続により、その症状は安定化し、軽快または治癒する病気であるという正しい理解の普及啓発が進み、その結果、いつの日か、ごく自然に自らの障害を隠すことなく、地域の人々と同じように発言し活躍できる日が来れば、私たちの努力も報いられることでしょう。

※ノーマリゼーション

住居や移動手段をはじめとする生活環境、生活のリズムや多くの人々との交流も含めた人生のあらゆる面で、障害者が差別や不自由を感じることなく暮らしていけること。

当院における 「クリティカル・ナビゲーション」への 取り組み



今までの医療で、解りにくく理解できないことはありませんでしたか？
あるいはいつまで入院しているのだろうと不安になったことはありませんか？
「クリティカル・ナビゲーション」は、そんなみなさまの要望に応えるために
生まれてきたものです。

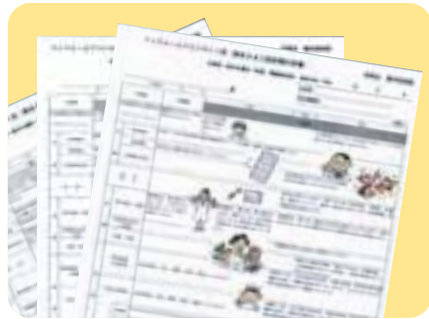
クリティカル・ナビゲーション委員会

クリティカル・ナビゲーションを
旅にたとえると、



「クリティカル・ナビゲーション」 とは？

簡単に説明してみましょう。人が知らない場所に旅をする場合、最低限何が必要か考えてみてください。まず第一に地図、次にコンパス、三番目に道ガイドではないでしょうか？



インフォームドコンセント用 (患者さま入院診療計画書)

次に、旅を病気あるいはケガで入院することと置き換えてみてください。コンパスに換わるものは医師の診断あるいは治療方針であり、道ガイドは看護師などに置き換わるのではないのでしょうか。では地図は何に置き換わるのでしょうか？それが「クリティカル・ナビゲーション」なのです。

豊田西病院から推進

ところが、「クリティカル・ナビゲーション」は精神科病院では無理だと言われてきました。なぜなら精神科の病気は標準化できないという考えが根深く残っているためです。したがって全国を探しても、まだほとんど取り入れられていないのが現状です。しかし、

当院はあえてみなさまの要望である医療の透明性を最優先として「クリティカル・ナビゲーション」を取り入れ、入院されるときに患者様にお渡ししようと考えました。

医学用語を使わずわかりやすく簡潔に、挿絵入りで作成してあります。これは精神科医療が今後こうなって欲しい、いやこうなるべきであると願いを込めて。

全国でもまだ少ないこの試みを、豊田西病院発で推進して行ければと考えております。今後とも患者様中心の医療を心がけ、世情の変化あるいはみなさまの要望にいち早く柔軟に対応していく所存です。今後ともみなさまのご要望をお聞かせいただければ幸いです。

最近の統合失調症の 治療について

医局長 嶋 宏昭

最近、統合失調症の治療薬として、従来の定型の抗精神病薬^{*1}から非定型の抗精神病薬^{*1}への切り替えが目立ってきました。

利点としては、幻覚・妄想などの陽性症状に対して同等以上の効果があり、手の震え、緊張などの錐体外路症状^{*2}の出現が低い点などが挙げられます。

現在国内では、四種類の非定型抗精神病薬が使われています。基本的にそれぞれの非定型抗精神病薬の有効性には差はありません。しかし、作用時間・副作用・鎮静効果などに若干の差が有り

ます。また、どの薬が合うかも個人差や症状によって違ってきます。

統合失調症の治療は、早期の薬物療法の導入によって、治療効果の高まり・再発リスクの低減・長期予後の改善につながります。とくに治療開始から最初の数週間が大事と思われる。この時に有効かつ副作用が最小限の薬剤で治療することによって、患者さん自身の治療に対する姿勢が変わり、長期的な予後に大きな役割を果たすものと思われれます。



※1 定型の抗精神病薬・非定型の抗精神病薬

【定型の抗精神病薬】
従来からの統合失調症の治療に使われている薬剤です。非定型の抗精神病薬よりも副作用が出やすいと言われています。(ハロペリドール等)
【非定型の抗精神病薬】
定型の抗精神病薬と同等の効果を持ちながら、副作用が少ない。(リスパダール・ジプレキサ・セロクエル・ルーラン等)

※2 錐体外路症状

抗精神病薬による副作用の一つです。筋力のこわばり、体の震え、流涎などの身体症状があります。その為、抗パーキンソン剤などが副作用止めとして使用されることがあります。

森林浴って気持ちいい～!

2004年12月11日(土)、サン・ドームのみなさんと愛知県緑化センター“昭和の森”へ森林浴に出かけました。朝からお弁当作りに熱が入り、大きなおにぎりをいくつも作り、ウイナー・卵焼き・唐揚げ…もちろんデザートも忘れず、豪華なお弁当ができました。リュックに水筒・お弁当を入れ準備万端! さあ出発です。

森の空気を胸いっぱい吸い、まわりの樹木・景色など楽しみ、落ち葉を踏みしめながらのゆっくりとした散策は、とても気持ちのいいも



晴天に恵まれて、心地よい一時を過ごしました。

のでした。また、森の香りとともにみんなで食べるお弁当はとってもおいしかったです。

素晴らしい晴れあがった冬の日、空気が澄んではるか遠くの山々まで望めました。その景色を心のキャンパスに描き、心地よい疲れと安らぎをお土産に無事帰りました。

愛知県林務課のパンフレット“森への招待状”によると、森林浴の効能は

- 1 歩くことは健康な体を作る。
- 2 頭脳をリフレッシュさせる。
- 3 精神を安定させる。
- 4 自然に楽しめる。
- 5 心に潤いを持てる。
- 6 緑は心理的効果がある。

とされています。みなさんもときどき森林浴に出かけられてはどうですか…!

祭り参加で、 交流の輪が広がる



秋晴れの2004年11月7日(日)、地域で開催された“保見ふれあい祭り”に参加させていただきました。幼稚園児による鼓笛演奏のオープニング、愛知万博キャラクターのモリゾー・キッコロも登場した愛知県警音楽隊の「ドリル演奏」、芸能発表や各展示・体験コーナーなど楽しい企画が盛りだくさんです。

いつもながら多くの方々に、サン・ワークショップの製品を手にしていただきました。初めての方からも「サン・ワークショップってどんなところ?」「どこにあるの?」と興味深く質問して

サン・ワークショップ

いただいたり、「来年も待ってるネ」と言われたり、いろんな方と温かい交流ができました。

サン・ワークショップとして今年で3回目の参加です。回を重ねるごとに、新しい交流が生まれ、そして深まり地域での輪が広がっていることを実感しました。

いつもながらに支援していただいている地域の方々に感謝いたします。

花苗のお世話で、 市の環境づくりに協力

豊田市では、花のあるまちづくり事業の1つとして「フラワーロード事業」をすすめています。この「フラワーロード事業」で花苗・プランター・培養土などを無料で提供していただき、サン・ワークショップとサン・ドームのみなさんが植え付けと水やりの維持管理をしています。

2005年春には「愛・地球博」が開催されま

す。全国から多くの人達を迎え入れる環境づくりに協力し、道行く人が温かい気持ちになってくれればと願いを込めてお世話しています。



一人一人の生活から就労援助を

地域生活支援センター「サン・クラブ」で行っている就労支援プログラムの主な視点は、“就労も生活の一部である”という生活支援を基盤とした個別援助です。

- 具体的な流れとしては、
- 1 就労希望調査
 - 2 間接的準備活動(実践的な就労を行う前の事前学習)
 - 3 直接的準備活動(実際に職業生活を送るために、必要と思われる知識や技能の訓練・習得)
 - 4 職場実習実践活動(企業や事業所での実務訓練)
 - 5 フィードバック(見直し)

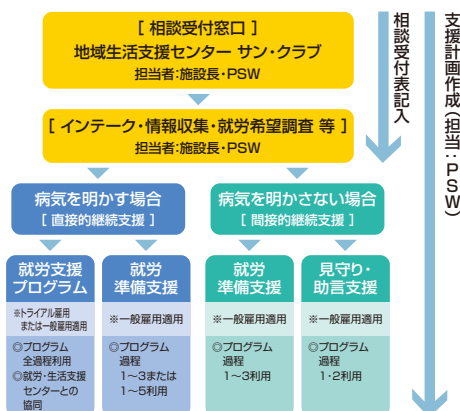
6 就労準備コース(求職活動)

となります。これらをもとに担当者が支援計画を作成します。就職活動をする上で、“病気や障害を明かす場合”と“明かさない場合”があると思います。ここで大切なことは、このどちらの場合でも「病気や障害と上手につきあっていくこと」が重要であるということです。

サン・クラブでは、一人一人に合った病気や障害との上手な付き合い方を学びながら、職業生活に関する知識や技能を習得していく、独自の就労支援の援助をすすめています。

サン・クラブ

[医療法人 研精会] 福祉部 就労支援の流れ



! information

豊田西病院インフォメーション

常に質の高い精神科医療の提供を目指して日々変化する豊田西病院。

このコーナーでは、そんな豊田西病院の最新情報をお届けしていきます。

ご希望の曜日、担当医をお選びください

曜日	第1診察	第2診察	第3診察	第4診察
月曜	大橋直哉	森省二	佐藤真紀	
火曜	坪井弘次	小野宏	品川好広	小出将則
水曜	坪井重博	豊田かおり	品川好広	
木曜	小野宏	森省二	嶋宏昭	
金曜	豊田かおり	大橋直哉		
土曜	坪井重博	嶋宏昭	廣江隆弘	前田貴生(隔週)
日曜・祝日	休診			

受付時間
午前8時45分 ↓ 11時45分
診療時間
午前9時00分 ↓ 12時00分

2月28日現在

スタッフからのお知らせ!

診察受付ボックスが 変わりました!

診察受付ボックスが新しくなりました。
上記のように、各診察室と曜日ごとの外来担当医を表示しております。ご希望の担当医の診察をスムーズに受けていただくことができるよう、窓口でもいいいな対応を心がけておりますが、お気づきの点がございましたら、お気軽にお申し出ください。



西方見聞録

イベント●トピックス

2004年10月～2005年2月

1月14日

デイ・ケアもちつき大会

毎年恒例となっている「もちつき大会」。回を重ねるごとに、盛り上がってきました。手馴れた手つきに弾むかけ声、つきたてのお餅の味は格別です。

立ち込める湯気と熱気に、寒さも忘れたひとときでした。



1月21日

理事長の新春ギターコンサート開催

季節の風物詩ともなっている「新春ギターコンサート」。回を重ねるごとに、レパートリーも増えてきました。会場からの声援と拍手に支えられながら、音楽を通じてみなさんと共に和やかな時間を過ごすことができました。



2月9日

中学1年生が 職場訪問で来院

井郷中学校の総合学習の一環として、「仲間と共に健やかに生きる」ことを学ぶため、1年生20名が来院されました。

当日は、「眠らないとどうなるのか?」「ストレスはどんなものですか?」「音楽にはどんな効果があるのでしょうか?」など、多岐にわたる質問が出され、嶋医局長がわかりやすく解説しました。当院が学校教育の場になるという、日頃とはちょっと違う雰囲気、スタッフ一同も貴重な体験となりました。



増改築ニュース!

夏頃完成、 外来機能がもっと充実します

増改築工事も最終工事の段階となりました。今回の工事では、外来棟の増改築工事により、診察室が新しいフロアに移動することになります。中庭の整備も予定されており、外来機能の充実を図るひとつのステップと考えております。

今年の夏頃の完成を目指して、準備を進めてまいります。工事期間中はご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



編集 後記

日ごとに春の足音が近づいてきました。万博が開催されるこの年に、5期に及んだ増改築工事ひとつの区切りを迎えます。工事期間中は、多くの方にご協力をいただき、ここまで進めることができました。今後は、当院のテーマでもある「医療の質の向上」ソフト面の充実に向けて、今以上の取り組みを実践してまいります。当院での取り組みについては、この誌面を通してみなさんにお伝えしていきたいと思っております。

豊田西病院 広報誌

サン・メッセージ

San Message

平成17年2月28日発行 第19号

医療法人 研精会



豊田西病院

〒470-0344 愛知県豊田市保見町横山100番地
TEL. 0565-48-8331 FAX. 0565-48-8318
<http://www.toyotawest.or.jp/>